

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だとと思われる点」などについて記入してください。

事業所名 夢門塾ゆうゆう高木2組 公表日 2026年 1月

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	3	・学習と遊びなどで分散させる。 ・用途に応じて学習室、運動室を使い分けている。	クールダウンスペース確保の課題を踏まえ、スペースの活用工夫により、安全で落ち着いた環境づくりを進める。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	・シフトのチェックをした際、気になる部分は伝える。 ・利用者数や一人一人の特性に応じて日々職員配置を調整している。	シフトや行事により人員配置や送迎対応が難しい場合があるため、柔軟な工夫により安定した支援体制の確保を進める。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	・一日の流れや落ち着いて過ごすための注意点などを視覚化しておりそれを踏まえて声掛けしている。 ・学習室には机、運動室には室内用シューズを置いている。教室には手すりをつけている。	玄関から学習室へのドアが勢いよく閉まることがあるため、安全対策を進め、安心して環境づくりに努める。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	・毎日の掃除をしっかりと行うことができている。 ・支援後必ず清掃し、常に安全に過ごせるよう日々空間を設定している。 ・窓を開け、加湿器、除湿器をつけている。	壁の穴などを補修し、安全で安心な環境づくりに努める。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	・活動や学習、その他、メンタルケアのため過ごせる空間をいつも設定している。 ・調理室やカウンターを使用。	クールダウン用の部屋がないため、安全に利用できる環境づくりの工夫に努める。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	・いつでもPDCAの視点での支援の相談ができる関係性になっている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・アンケートのアナウンス等送迎時に行っている。 ・保護者アンケートを実施し、職員間で共有している。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	・定期的な管理者との面談で伝えている。 ・支援後や支援前にフィードバックするよう努めている。 ・その場にいる人にはノートを用いて伝える。	全体発信の場がないため、情報共有の工夫により連携を深める環境づくりに努める。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1		評価結果を職員に分かりやすく伝え、改善策を検討する会議やワークショップを設ける。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・全体研修・エリア研修・フォローアップ研修など、様々な研修への参加機会がある。 ・定期的に支援の質の向上のための研修を受けている。 ・毎月研修を行っている。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・しっかりと職員で意見を出し合っている。 ・半年ごとに見直し、説明を行っている。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	・モニタリングで保護者の意見をしっかりと聞いて反映させている。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・ケアカンファレンス・申し送りによって利用児童の状況を確認している。 ・定期的にカンファレンスを行い、意見を出し合ったよい支援策を考えている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	・ケアカンファレンス時に情報共有している。	職員全体が状況を把握できるよう、情報共有の工夫に努める。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用するなどにより確認しているか。	7	0	・提供記録への入力だけでなく、気になる様子については他職員にも伝えている。 ・職員間で情報共有したり、記録を確認している。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	・目標や項目設定は指導員・児発管のカンファレンスをふまえて設定されている。 ・それぞれの視点から一人一人の特性を理解するよう努め、支援内容を設定している。 ・モニタリング時に保護者と確認し、計画書に反映させている。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・事前に話し合う日を告知し、チームで参加できるよう促している。 ・申し送り後に全員で活動を決めている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・日々の活動は子どもの人数などふまえて決める。 ・定期的に支援プログラムを見直し、継続の有無を検討している。 ・各週の活動予定、メンバーを考えながら決めている。 ・同じ内容でもやり方を変える。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	2	・日々活動の参加の有無などを確認し、一人一人の特性を理解するよう努めている。 ・活動時、学習室と運動室に分かれて行っている。	個別で取り組む内容も確実に実施できるよう、計画と工夫に努める。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・申し送り時に合わせて活動の決定、おやつ担当等決めている。 ・必ず毎日職員間で一日の流れを決めている。 ・申し送り後の集まりでは、リード役、カメラ係、マンツーマン対応などの役割をあらかじめ決めています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	・送迎後、翌日準備や記録の際に情報共有している。 ・職員に関してはできている。	業務時間の制約がある中でも、随時フィードバックを行い支援の質向上に努める。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・記録を日々分担して入力することができる。 ・記録を書いた可視化できるツールを用いている。 ・翌日の業務が終わるまでに記録を取り、情報共有している。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・モニタリング後にはカンファレンスを実施しており、職員全員が参加できています。 ・半年ごとに見直し、説明を行っている。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0	・こどもの発達段階や興味に応じて、個別支援と集団活動の中で4つの基本活動を組み合わせ、学びや経験の幅を広げている。	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	・活動を選ぶことができたり、選択肢をいくつか提示する。 ・支援中はいくつかの選択肢を用意し、その中から何がしたいかを決めてもらっている。 ・はじまりの会で提案し、場合によって変えていくし、職員の動きも変える。	

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのことでの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	・管理者・児発管がケース会議等に出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	・送迎時に学校の関係者と情報共有している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、ことでの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	・適宜学校と連絡を取って情報を共有している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	・得られた情報を記録し、全職員で共有することで、入所初期から一貫した支援を行えるよう工夫している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1		卒業前に段階的に必要な情報を整理し、移行先へタイムリーかつ分かりやすく提供できる仕組みづくりに努める。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3		児童発達支援センターの研修や講座に職員が参加できるよう調整し、知識や技能の向上に努める。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のことでも活動する機会があるか。	7	0	・月に1度のバスケットでは利用児同士の交流も見られている。 ・放デイ合同イベントに参加している。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2	・市内の放デイ会に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1	・送迎時にその日の様子を伝える。 ・その日の様子を口頭もしくはツールを用いて必ず発信している。	以前よりおろそかになっていた部分を改善し、着実に取り組む。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	・送迎時に資料等を使用して共有している。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	・資料や計画書を用いて説明している。 ・保護者様対応で質問等がある時には管理者に伝えている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	1	・保護者様から話があったときは場合は、管理者・児発管に伝えるようにしている。 ・利用者や保護者の意見を踏まえて計画書を作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	1	・保護者様から話があったときは場合は、管理者・児発管に伝えるようにしている。 ・送迎時に説明した上でサインを頂いている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1	・保護者様から話があったときは場合は、管理者・児発管に伝えるようにしている。 ・職員間で話し合い、よりよい助言、支援を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだいで交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	3	・パパ・ママ会については頻度は少ないが開催することはある。 ・夏祭りなど、家族・兄弟も参加できる行事がある。夏祭りは参観日週を兼ねている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1	・すみやかに職員間で共有し対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・利用児童が活動を気にしている時には、夢通信を用いて伝えることがある。 ・毎月必ず更新している。 ・夢通信、ブログなどを通して、行事予定や子どもたちの様子を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・関係者以外の目にとまらないようにしている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・全体への声掛けとは別に、個別でも声かけを行っている。 ・プライバシーに関する承認の表を常に確認し、お便り等を作成している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1	・毎年、地域の人々を巻き込んだイベントを開催している。	ゆうゆう祭りなどはあるが、夢塾としての行事機会が少ないため、体験の工夫により子どもたちの豊かな経験を提供できる環境づくりに努める。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	・避難訓練したり、紙壁を貼ったりしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・定期的避難訓練を行っている。 ・適切に避難ができるか定期的に訓練を行い、フィードバックを行っている。	災害時の正しい行動の説明を充実させ、安全に行動できる環境づくりに努める。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	・朝の迎え時に必要な児童については確認を行っている。 ・一人ひとり、服薬や持病の書類を預かり、いつでも確認できるようにしている。	保護者への確認も行い、支援の精度向上に努める。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	・アレルギーのある児童が調理に参加する際には、その食材を使用しないよう話し合っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	2	・定期的に研修を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	・送迎時等に確認している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	3	・書面に残し、他職員に共有している。	ヒヤリハットの記録が十分でない部分を改善し、再発防止と安全管理に努める。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・虐待についての研修に参加している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1	・飛び出す可能性がある児童については施設しても良いという事を把握している。	飛び出す可能性のある児童への対応は施設の必要性を把握しているが、職員間で声掛けを行い、安全に見守る体制の工夫に努める。
保護者様評価、自己評価についてまとめ						
<ul style="list-style-type: none"> 日々の支援の中で、送り時に様子をしっかりと伝えること等を意識することができているが、活動や環境調整の部分では、工夫・改善が必要なことが多くあると感じた。 適切な支援を行うため、定期的に研修に参加し、様々な観点から業務改善に努めている。 加えて日頃から、職員間でフィードバックが行われており、各事業所間で共有することで、より良い支援になるよう努めている。 保護者との情報共有については、引き続き連携を図るとともに、共有事項をメモに残すなど忘れずに持ち帰り、職員間で確実に情報を共有できる体制づくりに努める。 						